

## NY マーケットレポート (2017年2月6日)

NY 市場では、先週末の米雇用統計の結果を受けて、米国の早期利上げ観測が後退し、日米金利差が縮小するとの思惑が引き続き材料視され、ドル売り・円買いが先行した。

その後は、値を戻す動きとなったものの、米債券利回りの低下や、株価が軟調な動きとなったことから、再び円買いが優勢となった。

そして、ドル/円が 112 円台を割り込むと円買いが加速し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ドル/円は、一時 111.63 まで下落し、11/28 以来の安値を付ける動きとなった。

一方、ユーロは、4-5 月のフランス大統領選などを巡る先行き不透明感を背景に、主要通貨に対して軟調な動きとなった。

### 2017年 2月 6日 (月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.74	112.78	112.23
EUR/JPY	121.22	121.50	121.06
GBP/JPY	140.63	140.77	140.22
AUD/JPY	86.28	86.50	86.10
EUR/USD	1.0753	1.0792	1.0748

LONDON	高値	安値
USD/JPY	112.76	112.23
EUR/JPY	121.22	120.45
GBP/JPY	140.69	140.03
AUD/JPY	86.32	85.90
EUR/USD	1.0759	1.0730

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.68	112.58	111.63
EUR/JPY	120.09	120.71	119.96
GBP/JPY	139.26	140.12	139.22
AUD/JPY	85.56	85.97	85.47
NZD/JPY	81.77	82.07	81.67
EUR/USD	1.0754	1.0756	1.0706
AUD/USD	0.7661	0.7665	0.7629

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20052.42	-19.04
S&P500	2292.56	-4.86
NASDAQ	5663.55	-3.22
日経225 (CME)	18855	-195
トロント総合	15456.94	-19.45
ボルサ指数	休 場	
ボバスパ指数	63992.93	-961.00

#### 2/7 経済指標スケジュール

08:50	【日本】1月外貨準備高
09:01	【英国】1月BRC小売売上高
11:00	【ニュージーランド】1Q RBNZインフレ期待[2年間]
12:30	【オーストラリア】政策金利発表
14:00	【日本】12月景気一致CI指数
14:00	【日本】12月景気先行CI指数
15:00	【南アフリカ】1月外貨準備高
15:45	【スイス】1月SECO消費者信頼感指数
16:00	【ドイツ】12月鉱工業生産
16:45	【フランス】12月貿易収支
16:45	【フランス】12月経常収支
16:45	【フランス】12月財政収支
17:30	【英国】1月ハリファックス住宅価格
17:30	【スウェーデン】1月財政収支
18:30	【南アフリカ】1月SACCI景況感指数
22:30	【米国】12月貿易収支
22:30	【カナダ】12月国際商品貿易
22:30	【カナダ】12月住宅建設許可
00:00	【米国】12月JOLT労働調査[求人件数]
00:00	【カナダ】1月Ivey購買部協会指数
05:00	【米国】12月消費者信用残高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1232.10	+11.30
NY 原油	53.01	-0.82
CMEコーン	363.75	-1.50
CBOT 大豆	1036.00	+9.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.153%	1.197%
3年債	1.410%	1.462%
5年債	1.854%	1.913%
7年債	2.189%	2.252%
10年債	2.415%	2.470%
30年債	3.057%	3.096%

ドイツ10年債	0.370%	0.412%
英国 10年債	1.317%	1.352%

#### 2/7 主要会議・講演・その他予定

・米3年債入札

## NY 市場レポート

23 : 10

◀ 要人発言 ▶

ドラギ ECB 総裁

- ・「インフレ率は、今後数年で上昇する見通し」
- ・「金融政策の支援は、インフレ上昇に依然として必要」
- ・「インフレの加速は主にエネルギー価格が原因」
- ・「急性のデフレリスクは消え去った」
- ・「経済の見通し悪化なら、量的緩和の規模や期間の拡大は可能」

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月米労働市場情勢指数 1.3 (前回 0.6)

前回発表の-0.3 から 0.6 に修正

指標結果データ

◀ 労働市場情勢指数 (LMCI) ▶

1 月 ・ ・ 12 月 ・ ・ 11 月 ・ ・ 10 月 ・ ・ 9 月 ・ ・ 8 月

労働市場情勢指数 ・ ・ ・ 1.3 ・ ・ 0.6 ・ ・ 1.5 ・ ・ 1.4 ・ ・ 0.1 ・ ・ 0.0

0 : 10

◀ 要人発言 ▶

ドラギ ECB 総裁

- ・「ECB は 2011 年以來、外為市場に介入していない」
- ・「2011 年の外為市場への介入は G7 の協調介入」
- ・「われわれは為替操作していない」

0 : 15

◀ 要人発言 ▶

仏大統領選候補フィヨン氏

- ・「疑惑は根も葉もない」
- ・「妻の給与は、完全に正当化できる」

◀ 欧州のポイント ▶

①ドイツの保守系与党連合のキリスト教民主・社会同盟は、9 月 24 日に行われる連邦議会選挙での首相候補にメルケル現首相を指名することで合意した。キリスト教民主・社会同盟は、これまでメルケル氏が過去 2 年間に 100 万人以上の難民をドイツに受け入れたとして批判していた。キリスト教民主とキリスト教社会同盟は、中道左派の社会民主党への対抗策を練るためミュンヘンで会合を開いている。

②仏調査会社が公表した世論調査によると、大統領選の決選投票では、中道系の独立候補、マクロン前経済産業デジタル相が極右政党、国民戦線のルペン党首を大きく引き離し勝利すると見込まれている。調査では、決選投票でマクロン氏が 65% を得票し、ルペン氏が 35% の見通し。第 1 回投票では、ルペン氏の得票率が 26% と、マクロン氏が 23% と予想されている。中道右派、共和党のフィヨン元首相は 20% と 3 位になり、決選投票に進めない見通し。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、トランプ米大統領の政策運営や、フランス大統領選などを巡る先行き不透明感を背景に、主要株価は軟調な動きとなった。



出所：Bloomberg

3 : 38

ドル/円再び 112 円台割れ。



出所：Net Dania

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 11.30 ドル高の 1 オンス=1232.10 ドルで取引を終了した。

NY 金は、トランプ米大統領の政策や、フランス大統領選の行方に対する不透明感から、投資家がリスク回避姿勢を強め、比較的安全な資産とされる金を買う動きが優勢となった。終値ベースでは、昨年 11 月 10 日以来、約 3 ヶ月ぶりの高値水準となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.82 ドル安の 1 バレル=53.01 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米国内の石油掘削装置の稼働数が増加傾向にあることで需給引き締めへの期待が後退し、売りが優勢となった。ただ、米国とイランの対立激化が中東原油の供給に影響を及ぼすとの懸念から買いも入った。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、ダウ平均が前週末に大幅上昇した反動で利益確定のための売りが出る一方、米景気先行きを期待した買いも入り、序盤から売買が交錯する展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤に前週末比 68 ドル安まで下落したものの、その後は 23 ドル高まで上昇する動きとなった。ただ、上値の重い動きとなり、マイナス圏での動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、先週の米雇用統計の結果を受けて米国の早期利上げ観測が後退したことが引き続き材料視され、ドル売り・円買いが先行した。また、底固い動きが続いていた 112 円台を割り込んだことから、円買いが加速する場面もあった。市場では、週末に控えた日米首脳会談までは、積極的に動きにくいとの見方も広がっていた。



出所：総合分析チャート

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。